世界の紅茶

ダージリン　Darjeeling

インド北東部のヒマラヤ山麓産。デリケートな味わいのなかにも力強さのある紅茶。世界三大銘茶のひとつ。フルーティーでさわやかな飲みごたえが特徴的。ゴールデンディップという花芽の部分が含まれる極上品はマスカットフレーバーという独特の香りがあり、お茶の中のシャンパンといわれる。葉茶は大きめなので、時間をかけて蒸らすとよい。なにも入れないでストレートで飲む方がおいしさが引き立つ。ミルクと砂糖を加えて就寝前のお茶としてもよい。

アッサム　Assam

インド北東部のアッサム地方産の代表的な紅茶。世界最大の生産量。くせがなく、深く力強い味わいとこくを楽しむことができる。芳醇な香りも特徴のひとつ。抽出時間は短めなので、濃いめにいれてミルクティーとして味わうのがおすすめ。

アールグレイ　Earl Grey

ダージリンとキームンをブレンドした茶葉に、ベルガモットという柑橘系の果実の香りをつけた個性的なフレーバーティー。こくがあり、香りが豊か。ストレートで味わうのもよいが、アイスティーにしてもおいしい。

ニルギリ　Nilgiri

インド南部のニルギル産。ニルギリとは「青い山」という意味。セイロンティーに似たしっかりとした味わいと軽やかな香りが特徴の紅茶。ミルクティーやバリエーションティーでさわやかに味わう。

イングリッシュ・ブレックファースト　English Breakfast

インド産とスリランカ産の葉をブレンドした紅茶。くせのない香りと味わいは、一日を始める朝食時にふさわしいお茶。ミルクと砂糖をたっぷりと入れて。